

時間ごとにみる、防災気象情報と避難行動

キキクル（危険度分布）は、大雨警報や洪水警報が発表されるような、重大な災害が発生するおそれのある状況で、自らの地域の危険度の高まりを把握するための情報です。
土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域等の命が脅かされる危険性が認められる場所にお住まいの方は、危険度が高まったら、命を守るために早めの避難をお願いします。

【気象庁が発表する情報のタイミングと住民の行動】



※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3（高齢者等避難）に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成

キキクル（危険度分布）では、警報や土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報などの発表時に、危険度が高まっている地域を詳しく知ることができます。

あらかじめ、お住まいの土地が持つ災害発生の危険性をご認識いただいた上で、いざというときに見るべき情報をご確認ください。

【キキクルの通知サービスについて】

キキクルについて、速やかに避難が必要とされる警戒レベル4に相当する「危険（紫）」などへの危険度の高まりをプッシュ型で通知するサービスを、気象庁の協力のもとで、民間事業者が実施しています。この通知サービスでは、ユーザーが登録した地域の危険度が上昇したときに、メールやスマホアプリでお知らせします。

協力事業者等詳細は、気象庁ホームページ（https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push、右記のQRコードを読み込むことでもアクセスできます）をご覧ください。



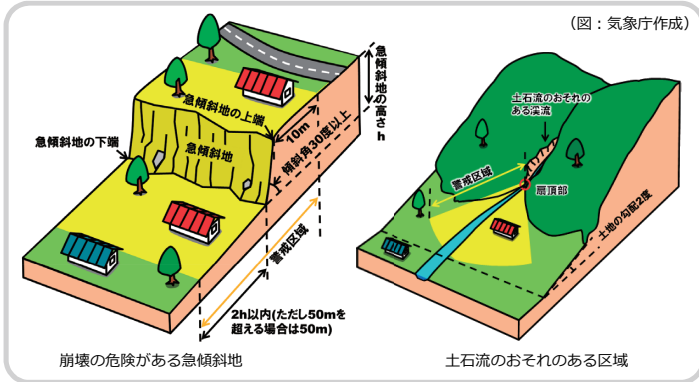
気象庁ホームページから抜粋

土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）

大雨警報（土砂災害）や土砂災害警戒情報を補足する情報です。土砂災害発生の危険度の高まりを5段階に色分けして表示しており、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。避難にかかる時間を考慮して、危険度の判定には2時間先までの土壌雨量指数等の予測値を用いています。

土砂災害発生の危険性が認められる場所

土砂災害は、土砂災害警戒区域等で発生します。あらかじめお住まいの環境を把握するとともに、市のハザードマップで土砂災害警戒区域であるかをご確認ください。



急傾斜地などの近くは危険ということ？

はい。地形的な要因があるところに大雨が降ることで、土砂災害が発生します。



避難のタイミングをつかむための情報

大雨警報（土砂災害）や土砂災害警戒情報が発表されたら土砂キキクルを見てください。

土砂キキクルを確認

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/>
土砂災害の危険度を1kmメッシュごとに詳しく予想しています

大雨警報（土砂災害）を確認

中心市	05:00	06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	備考	
赤松	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	土砂災害警戒区域
赤松	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	土砂災害警戒区域
赤松	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	土砂災害警戒区域
赤松	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	土砂災害警戒区域

危険度の高まる時間帯を確認しましょう。

土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)

スマホで簡単アクセス

さらに土砂災害の危険度が上がる予想

土砂災害警戒情報を確認

うちは土砂災害警戒区域で、危険度が赤になったわ。今は夕方まで雨もひどくないし、今のうちに避難しましょう。

色が持つ意味	住民等の行動の例
高 危険度 低	
災害切迫	命に危険が及ぶ土砂災害が切迫。すでに発生している可能性が高い状況。 (立退き避難がかえって危険な場合) 命の危険直ちに身の安全を確保!
<警戒レベル4までに必ず避難!>	
危険	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況。 土砂災害警戒区域等の外へ避難する。
警戒	高齢者等は土砂災害警戒区域の外へ避難する。高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。
注意	ハザードマップ等により土砂災害警戒区域等や避難先、避難経路を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。

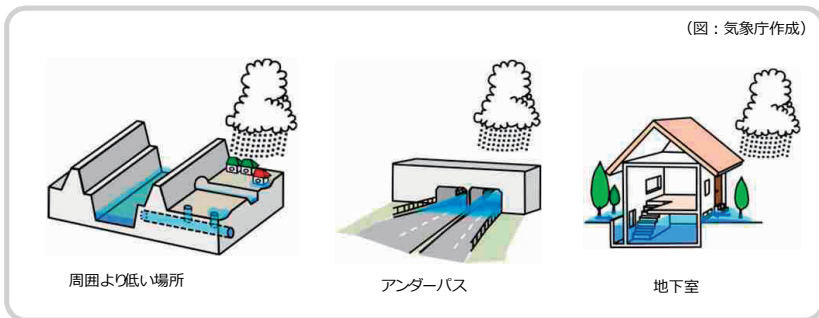
土砂災害警戒区域等では、赤（警戒）以上の危険度となった場合には、早めの避難を心がけてください。

浸水キキクル（大雨警報（浸水害）の危険度分布）

大雨警報（浸水害）を補足する情報です。下水道等で排水しきれないほどの大雨が短時間で降ったことが原因で、河川とは関わりなく発生する浸水害（いわゆる内水氾濫）発生の危険度を5段階に色分けして表示しており、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。危険度の判定には1時間先までの表面雨量指数の予測値を用いています。

浸水害発生の危険性が認められる場所

浸水害は、周囲より低い場所やアンダーパス、地下室などで発生します。あらかじめお住まいの環境を把握するようにしてください。



浸水害が発生しやすい場所があるんだね。

はい。例えば、アスファルトに覆われた都市部や平坦で水はけの悪い場所では、雨水が溜まりやすいため、浸水害が発生しやすくなります。



避難のタイミングをつかむための情報

大雨警報（浸水害）が発表されたら「浸水キキクル」を見てください。

浸水キキクルを確認

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund/>
 浸水害の危険度を1kmメッシュごとに詳しく予想しています

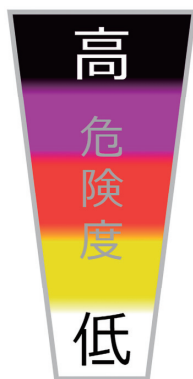
大雨警報（浸水害）を確認

危険度の高まる時間帯を確認しよう。

浸水キキクル

スマホで簡単アクセス

大雨警報（浸水害）が発表されて、危険度が赤になった。地下室からすぐに出よう。



色が持つ意味	住民等の行動の例	想定される周囲の状況例
災害切迫	重大な浸水害が切迫し、すでに発生している可能性が高い状況。 (立退き避難がかえって危険な場合) 命の危険 直ちに身の安全を確保!	
＜警戒レベル4までに必ず避難!＞		
危険	周囲の状況を確認し、 各自の判断で、屋内の浸水が及ばない階に移動する。	道路が一面冠水し、側溝やマンホールの場所が分からなくなるおそれがある。道路冠水等のために鉄道やバスなどの交通機関の運行に影響が出るおそれがある。周囲より低い場所にある多くの家屋が床上まで水に浸かるおそれがある。
警戒	安全確保行動をとる準備 が整い次第、早めの行動をとる。高齢者等は速やかに安全確保行動をとる。	側溝や下水が溢れ、道路がいつ冠水してもおかしくない。周囲より低い場所にある家屋が床上まで水に浸かるおそれがある。
注意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。ただし、 各自の判断で、住宅の地下室からは地上に移動し、道路のアンダーパスには近づかないようにする。	周囲より低い場所で側溝や下水が溢れ、道路が冠水するおそれがある。住宅の地下室や道路のアンダーパスに水が流れ込むおそれがある。周囲より低い場所にある家屋が床上まで水に浸かるおそれがある。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。	普段と同じ状況。雨のときは、雨水が周囲より低い場所に集まる。

詳細な説明はこちらのページからご確認ください。 https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/riskmap_inundation.html

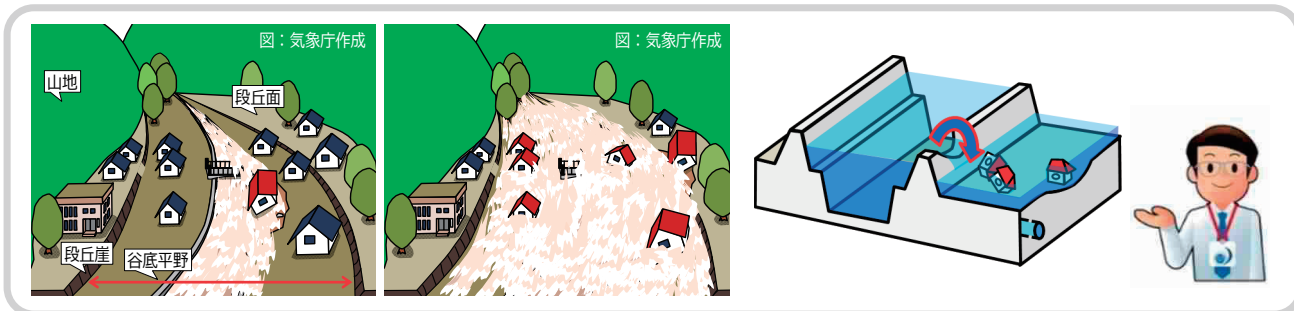
周囲より低い場所にある家屋では、赤（警戒）以上の危険度となった場合は、床上への浸水がいつ発生してもおかしくない状況のため、屋内の高いところや場合によっては屋上へ移動するなど、安全確保行動を心がけてください。

洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）

洪水警報を補足する情報です。河川流域に降った雨による洪水災害発生の危険度を5段階に色分けして表示しており、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。危険度の判定には3時間先までの流域雨量指数の予測値を用いています。

洪水災害発生の危険性が認められる場所

洪水災害は、堤防から水があふれたり堤防が決壊した場合に浸水が予想される区域や、山間部の流れの速い河川沿いなどで発生します。特に、決壊した堤防の付近や幅が狭く氾濫時に水かさが増える谷底平野では、破壊力の大きな氾濫流が生じて家屋が押し流されるおそれがあります。あらかじめ市のハザードマップなどで洪水浸水想定区域を確認するとともに、お住まいの環境に危険性がないか（谷底平野かどうか等）を把握してください。



避難のタイミングをつかむための情報

洪水警報が発表されたら、川の水位が高くなる前の早いうちから洪水キキクルを見てください。自分がいる場所の上流地点も含め、危険度が高まっている場合には、早めの避難行動を心がけてください。

洪水警報を確認

危険度の高まる時間帯を確認しましょう。

洪水キキクルを確認

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood/>
洪水災害の危険度を詳しく予想しています

スマホで簡単
アクセス

洪水警報が発表されて、危険度が紫になった。
高い所（河岸段丘の上）にある知人の家に避難しよう。

	色が持つ意味	住民等の行動の例
<div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; font-weight: bold; font-size: 2em;">高</div> <div style="background-color: purple; color: white; padding: 5px; font-weight: bold; font-size: 2em;">危険度</div> <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; font-weight: bold; font-size: 2em;">低</div>	災害切迫	重大な洪水災害が切迫し、すでに発生している可能性が高い状況。 (立退き避難がかえって危険な場合) 命の危険 直ちに身の安全を確保!
	<p><警戒レベル4までに必ず避難!></p>	
	危険	中小河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害が発生する可能性が高い状況。 水位が一定の水位を越えている場合には、安全な場所へ避難する。
	警戒	水位が一定の水位を越えている場合には、高齢者等は安全な場所へ避難する。 高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。
	注意	ハザードマップ等により避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。
	今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。

洪水予報河川の洪水で命に危険が及ぶ地域では、指定河川洪水予報の内容に応じた避難を心がけてください。それ以外の河川の洪水で命に危険が及ぶ地域では、赤（警戒）以上の危険度となった場合は、水位等の河川の現況も確認のうえ、命を守るための避難行動を心がけてください。